

電子投稿・査読システムについて

B 部門 部門誌編修委員会

1. まえがき

B 部門（電力・エネルギー部門）では、2008 年 1 月から電子投稿・査読システムを導入するため現在準備を行っており、以下にその内容をご紹介します。

すでに、A 部門および D 部門ではこのシステムの運用が始まっています。電気学会ではこのシステムをベースに各部門の意見を取り入れて改良等を行ったものを導入します。ただし、実際の運用は各部門の特徴を生かして運用されることになります。

このシステムの導入により、投稿者にとっては郵送時間の短縮、学会経由の事務作業の一部削減などによる論文投稿から掲載までの時間短縮、およびリアルタイムでの査読状況の確認など、いくつかのメリットが享受できます。

電子投稿・査読システムの導入に際しては、投稿者の方には、投稿時に論文の内容に合致する領域の選択が必要になります。これは、投稿される論文に対して迅速かつ適切な論文査読者を選ぶためのものです。

2. 電子投稿・査読システムの流れ

電子投稿・査読システムでは、紙や郵送で行っている投稿・査読に関する一連の作業と手続きを、電子投稿・査読システムのサーバーを介して行います。これにともない、論文原稿や論文投稿票の提出は、郵送による提出からサーバー上へのアップロードに置き換わります。投稿の受付確認、査読依頼、査読終了などの一連の連絡は電子メールで送信されることになります。

図 1 に、電子投稿・査読システムを使った投稿および査読の基本的な流れを示します。(1) では編修長、論文委員会の主査および幹事、査読者、投稿者の方は、個人情報を登録します（詳細は 3 章）。特に査読者の方には、専門領域を選択していただくことが必要になります。(2) で著者が論文を投稿すると電気学会事務局に投稿のメールが送られ、

(3) で事務局は論文番号を発行し、著者と編修長に論文番号と投稿受付の完了が通知されます。図 1 には表示されていませんが、編修長のもとに編修長補佐が実務を担当します。(4) で編修長が投稿論文に記載された希望分野（B1：電力システム、B2：エネルギー変換・輸送）を参考にして、B1 主査/B2 主査から担当主査を選定します。(5) で担当主査は専門領域の細目により論文幹事を、(6) で論文幹事は査読者を選び、それぞれが決まるたびに関係者に情報が送信されます。なお、論文幹事が査読者を割り当てる際には、投稿された論文の領域および査読者の専門領域を考慮するとともに、一部の査読者に集中しないよう現在の各査読者



図 1 電子投稿・査読システムの基本的な流れ

の負荷および過去 1 年間の累計査読本数をシステム上で確認しながら決定することになります。選ばれた査読者は査読に着手します。査読が終わると、(7) で査読者から論文幹事、(7) で論文幹事から主査へとそれぞれメールが送信され、(9) で主査が査読結果を確認します。ここで、(10) の修正などが必要で再投稿する場合は (5) に戻り、そうでなければ、(11) で編修長は掲載/返送を決定し、登録します。(12) で電気学会事務局が最終結果を登録後、著者には編修会議議長名で論文掲載号が通知されます。

以上、一連の流れは基本的には現在の査読方法と同じです。ただし、投稿論文や投稿票の提出が郵送からサーバー入力になり、必要な連絡が郵便から電子メールに置き換わります。

3. 電子投稿・査読システムを利用した投稿方法

はじめて電子投稿する場合の基本的な操作方法について説明します。電子投稿・査読システムを使った投稿の流れは、①電子投稿・査読システムへのアクセス、②投稿者の個人情報の登録とログイン ID の取得、③論文の電子投稿、④投稿者自身での査読情報の確認、⑤再査読時の再投稿となります。

①の電子投稿・査読システムへのアクセスは、電気学会ホームページ (www.iee.or.jp) にアクセスし、B 部門の『[B] 電力・エネルギー』をクリックすると、電子査読・投稿システムへのリンク先が表示されますので、ここから電子査読・投稿システムへのログイン画面にアクセスしてください。また、この画面から投稿要領、査読状況確認および再

IEEJ Paper Management System -Section B-

Transactions on Industrial Application

Language: Japanese English

ログイン

個人ID [初めて利用される方はこちら](#)
パスワード [個人IDおよびパスワードをお忘れの際はここら](#)

システム利用要領

- 電気学会部門誌へご投稿の際は [こちら](#) の投稿要領をご参照下さい。
- 投稿論文の査読状況確認の際には [こちら](#) の査読状況確認要領をご参照下さい。
- 電気学会部門誌に再提出する際には [こちら](#) の再提出要領をご参照下さい。

図2 ログイン画面

提出要領のマニュアルを見ることができますので、活用してください。

②の投稿者の個人情報の登録とログインIDの取得では、図2のログイン画面から「初めて利用される方はこちら」の右側にある『ID取得』のボタンをクリックします。すると、図3に示す画面が表示されますので、「お名前」、「勤務先」、「電話番号」および「e-mail アドレス」は必須項目となっていますので、必ず入力し、その後『確認』をクリックすると内容確認の画面が表示されますので、内容に問題がなければ『登録』をクリックしてください。「登録が完了しました」というメッセージが表示され、ID番号とパスワードが表示されます。また、個人登録者には、タイトルが“Database information notification of IEEJ Paper Management System”のメールが送られ、この中に個人IDとパスワードが記載されています。この個人IDとパスワードは次回以降も有効ですので、大切に保管してください。

③の論文の電子投稿では、個人情報を登録して取得した個人IDとパスワードを図2のログイン画面で入力し、『認証』ボタンをクリックします。これで、電子投稿・査読システムにログインでき、図4のTop Menuの画面が表示されますので、必要に応じて、「論文の投稿」、「資料の投稿」または「レターの投稿」の『選択』ボタンをクリックします。

以下では、論文投稿の例で説明します。図5の論文投稿のフォーマットに必要な事項を記入し投稿論文などのアップロードを行います。著者1は投稿者の個人IDが自動的に入力されます。電子投稿・査読システムを介して、査読状況などをメールで送受信したい著者番号をプルダウンメニューから選択し、論文タイトルを入力します。次に、『参照…』ボタンをクリックして、ローカルの計算機にある投稿論文、論文等投稿票、論文要旨およびExtended Summaryのpdf形式にしたファイルを選択して、アップロードします。これらの4つは電子投稿のためには必須です。著作権譲渡書は必要に応じて、アップロードするか、郵送してください。更に、一般論文か該当する特集論文をプルダウンメニューから選択します。投稿する論文内容に合致する領域に該当

個人情報の確認および再登録

下記のフォームにより個人情報を修正します。修正内容の入力が終わりましたら、登録ボタンにより修正内容を登録してください。

確認のみの場合は [トップメニュー](#) ボタンを押して下さい。

必須項目

名前 →

勤務先 →

電話番号 →

E-mail →

お名前(漢字)	<input type="text" value="電気 太郎"/>	例: 電気 太郎(姓名の間に全角スペース)
お名前(フリガナ)	<input type="text" value="でんき たろう"/>	例: でんき たろう(姓名の間に全角スペース)
姓(ローマ字)	<input type="text" value="DENKI"/>	例: denki
名(ローマ字)	<input type="text" value="TARO"/>	
Title	<input type="text" value="mr."/>	
会員種別	<input type="text" value="正員"/>	
会員番号	<input type="text" value="1234567"/>	例: x00000
勤務先1	<input type="text" value="電気学会"/>	例: 電気学会
勤務先2	<input type="text" value="会誌編集課"/>	例: 編集課
郵便番号	<input type="text" value="110-0075"/>	例: 223-8522
住所1	<input type="text" value="東京都千代田区五番町6-2"/>	
住所2	<input type="text"/>	
電話番号	<input type="text" value="03-3221-7302"/>	例: 03-1235-5678
fax番号	<input type="text" value="03-3221-3704"/>	
e-mailアドレス	<input type="text" value="edk@iee.or.jp"/>	例: denki@ieej.org
専門領域	<input type="text"/>	

図3 個人情報の登録画面

Top Menu

電気 太郎 様、おはようございます。

既投稿論文に関する著者への情報

論文の投稿

資料の投稿

レターの投稿

個人情報の更新および確認

専門領域の更新および確認(必ず入力して下さい)

査読履歴の一覧

利用履歴の一覧

パスワードの変更

図4 Top Menu 画面

する項目をチェックして、選択してください。最後に『確認』ボタンをクリックすると、論文投稿内容の確認が出来ますので、間違いがなければ『登録』ボタンをクリックします。論文投稿後、メールにて論文登録番号が送付されます。

④の投稿者自身での査読情報の確認では、本システムの導入により、投稿者は図4のTop Menuの「既投稿論文に関する著者への情報」の『選択』ボタンをクリックすると、投稿論文の査読進捗状況をオンラインで確認することができます。

⑤の再査読時の再投稿は、主査が査読結果を条件付掲載、照会后判定とした場合に、投稿者に判定結果がメールで送信

論文投稿

下記フォームにより電子ファイル(pdf)で論文を投稿して下さい。記入が終わる

著者1	01234567	(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者2		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者3		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者4		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者5		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者6		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者7		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者8		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者9		(web登録した登録番号を入力して下さい)
著者10		(web登録した登録番号を入力して下さい)
論文タイトル	電子設備・系統システムについて (タイトルを入力して下さい)	
投稿論文	電子学会投稿論文.pdf	参照 (pdfファイル指定して下さい)
著作権譲渡書	電子学会著作権譲渡書.pdf	参照 (pdfファイル指定して下さい)
論文等投稿票	電子学会論文等投稿票.pdf	参照 (pdfファイル指定して下さい)
論文要旨	電子学会論文要旨.pdf	参照 (pdfファイル指定して下さい)
Extended Summary	電子学会Extended Summary	参照 (pdfファイル指定して下さい)
連絡先	署名! (必ず指定して下さい)	

ご本人のサインが入った著作権譲渡書であれば電子ファイル(PDF)で受理致します。
FAXで著作権譲渡書をお送り下さい。

特集論文に投稿を希望される方は、下記一覧より特集テーマを選択して下さい。

一般論文に提出希望の方は一般論文を選んでください。それ以外の方は特集論文タイトルを選んでください。

▼

下記より論文内容に合致する領域を選択して下さい。

B1. 電力システム

B2. エネルギー変換・輸送

電力系統計画・運用

1001. 系統計画

1002. 需給計画

1003. 電源開発計画

1004. 電源補修計画

1005. 電源起動停止計画

1006. 調整設備計画

1007. 送電線拡充計画

1008. 配電計画

1009. 作業停止計画

1010. 設備計画

1011. 系統運用

1012. 需給運用

1013. 水系統運用

1014. 配電運用

1015. 設備運用

1016. 需要予測・分析

送配電線・電力ケーブル

2001. 電力ケーブル

2002. 架空線

2003. 絶縁電線

2004. 電力ケーブル用付属品

2005. 劣化診断

2006. 事故点標定

2007. 寿命診断

2008. 部分放電

2009. 絶縁体材料

2010. 導電性材料

2011. 大電流

2012. 監視・診断装置

2013. 電磁環境

2099. その他関連事項

送配電機器・がいし

2101. 配電機器

2102. 送電機器

2606. 直接変換装置

2607. 新発電装置

2699. その他関連事項

その他電力用機器

2799. その他関連事項

論文投稿後、e-mailにて論文登録番号が送付されます。

確認

図5 論文投稿画面

されます。システムにログインして、照会事項などの査読結果を確認します。その後、修正した投稿論文、論文要旨、Extended Summary を再度アップロードするほかに、照会事項に対する回答文もアップロードします。また、論文内容に合致する領域も再度選択していただくことになります。

4. まとめ

電子査読・投稿システムは、基本的には現在の投稿論文、査読書類を郵送で授受する方法からサーバーと電子メールを用いる方式に置き換えるツールです。論文投稿者には、慣れないことに伴う投稿作業の煩雑さが増加するかもしれま

せん。しかし、学界の重要なミッションである論文投稿から掲載までの時間短縮を目指すものであり、投稿者にとっては投稿した論文の査読状況をリアルタイムで確認できる効果があります。

2008年1月以降の電子投稿・査読システムの導入にご協力をお願いします。

ご不明な点がございましたら、下記の電力・エネルギー部門編修委員会電子投稿・査読システム担当まで、お問い合わせください。

澤 敏之 E-mail : toshiyuki.sawa.zu@hitachi.com

羽馬洋之 E-mail : Hama.Hiroyuki@bk.MitsubishiElectric.co.jp